



通信

HP 学校だより
R5. 6. 7
NO. 10
文責 伊藤美佳



縦割り活動の中で見た6年生の動き

今年度は、縦割りでの活動を大切にしたいと考え、縦割り遠足、運動会での縦割り大玉送り、縦割りときよさかタイムと実施してきました。

6日（火）の業間に縦割りゲーム「猛獣狩りへ行こうよ」を代表委員会の6年生が実施しました。このゲームは、動物名の字数でグループを作るといったもので、初めての仲間でも気軽に声をかけてグループを作り、そこで話すことで友達の輪を広げられるものです。ということは、①なるべく知らない子と、②低学年や困っている子に声をかけてグループを作る必要があります。

最初は縦割りチーム内でグループを作っていました。少しずつ動物名の字数が増え、全校で行う「猛獣狩りへ行こうよ」に変わっていききました。そうすると、グループの人数をそろえられず、困っている子たちがあちらこちらに出てきました。その子たちへ、6年生の子がすかさず声をかけていました。「あと何人？」「こっちへおいで」「僕は抜けるからこれで人数がそろったね。」など、なかなか自分から声をかけることができずに立ち尽くしている子に声をかけ、人数をそろえる調整役をしてくれました。自分がグループを組んで座ることよりも、周りの子のことを優先させてくれている姿に「これぞ6年生！頼もしい。」と感じました。調整役ができるということは、全体が見えているということです。

6年生は他にも、登校時や下校時に転んでしまった低学年の子のランドセルをもってあげたり、楽しくなるようにお話をしたりして、最高学年としてどうすればよいか考え、行動しようとする意欲を感じます。

朝会で子どもたちに、「自分で考え、行動する」ためには、日頃から「考える練習」が大切だという話をしました。自分で考える力をつけるには、日々の練習が大切です。更に、考えたことを実行に移すには、自分に対する肯定感と行動力も必要になります。これらは短時間で身につくものではありません。六年間、それ以上の時間をかけて、少しずつ貯金していくことが子どもたちの未来につながると考えます。「自分で考える」「考えを伝える」「人の意見を聞いて、自分の考えを再度見直す」「考えたことを行動に移す」そんな自分貯金ができたら、たくさん褒めてあげてください。いつでも、どこでもできる自分貯金、ご家庭でも推奨します。将来、利子がたくさんついて子どもたちに還元されていくこと間違いなし！

